

研究名: Patient based Super Selective Dorsal Rhizotomy before hip dislocation in Cerebral Palsy Patients with GMFCS level IV and V can prevent subsequent orthopaedic surgeries.

重度脳性麻痺児(GMFCS レベル IV と V)で股関節脱臼を起こす前に SDR (選択の後根切断術) を行うと整形外科手術の介入を減らす可能性がある

#### <1. 研究の目的>

重度脳性麻痺児 (粗大運動能力システム GMFCS レベル IV,V) の股関節脱臼率は自然経過ではかなり高く、患者本人の QOL や介護上の大きな問題となっており、整形外科的手術を必要とする割合も高い状態です。

本研究では、若年で SDR を行い下肢の筋痙縮を軽減することで、将来的な整形的手術を減らしたり遅らせたりすることができる可能性について検討します。

#### <2. 研究の方法>

対象期間: 2020 年 1 月 1 日~2027 年 3 月 31 日

対象患者: 当院で SDR を行った重度脳性麻痺児 (粗大運動能力システム GMFCS レベル IV,V) の方

研究方法: SDR の後に整形外科的な手術を必要とした方と必要としなかった方の割合を自然経過と比較します。また、SDR の術後で最終観察時の時に股関節脱臼の有無を自然経過と比較します。

#### <3. 研究に用いる情報の種類>

データ取得方法: 電子カルテの後方視的抽出 (年齢、性別、転帰など)

※患者様の氏名など本人を特定できる一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

#### <4. 情報の公表>

研究内容は学会発表や学術論文のかたちで公表する予定です。

※研究結果の発表に対しても、個人が特定されないよう十分に配慮して行います。

#### <5. 研究実施機関>

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

<6. お問い合わせ先>

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連作先までお問い合わせください。ご希望があれば、他研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承できない場合には研究対象としませんので、2026年4月30日までに下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

○紹介先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

リハビリテーション科 杉浦由佳

住所：〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 118-1

電話：098-888-0123

○研究責任者：

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

リハビリテーション科 杉浦由佳